

富士山木造住宅協会が取り組む 長期優良住宅・地域材の普及活動

2555社が加盟する 大規模ネットワーク

大手木材販売会社の
（株）マルダイ（静岡県富士市、深沢裕一郎社長）が事務局を務める一般社団法人富士山木造住宅協会（寺崎幸治代表理事／空間工房LOHAS社長）には、富士山を中心とした周辺（1都5県）の工務店200社、賛助会員55社の計2555社が加盟。大規模な地域工務店ネットワークとして、活動している。



渡邊泰敏理事

工務店の技術力向上、長期優良住宅の推進支援、大工・職人・現場監督の育成、保証の充実などのサポートを行うことで、時代の流れに即した工務店のビジネスモデルを構築する。

「まずは工務店さん
に勉強してもらって、集客につながるのと同様に、一般ユーザーにこういう家づくりがあることを知ってもらい、近くの工務店に足を運んでもらう。工務店・ユーザーの両側にアプローチをかけることで、協会として長期優良住宅や地域材の普及・促進に取り組んでいきます。そうした家づくりを行うコスト増の問題も、予算制限

長期優良住宅先導的モデル事業、地域木造住宅市場活性化推進事業、「緑の循環」認証会（SGREC）の認定事業体などの実績を持ち、今後は、平成24年度の地域型住宅プランド化事業の取り組みも行う予定だ。

工務店・ユーザーの 双方にアプローチを

同協会では、会員工務店の技術力向上と

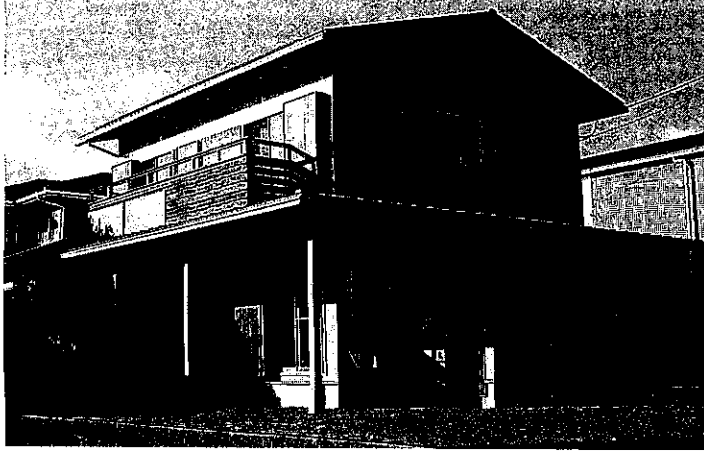
協会の活動の目的は 工務店を支えるため

実際問題、会員工務店200社すべてが長期優良住宅や地域材活

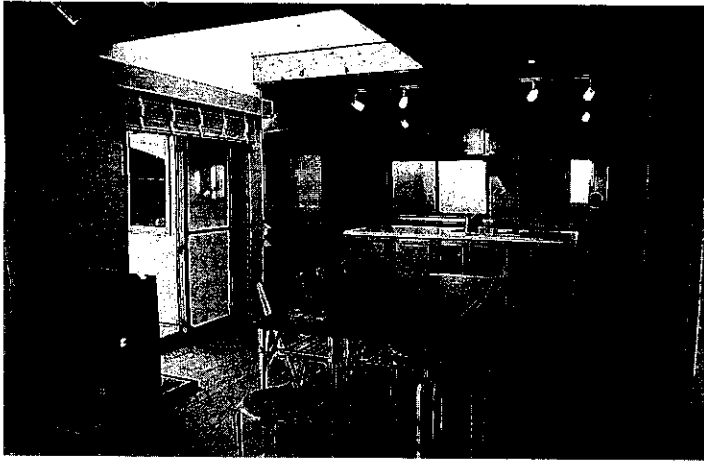
用積極的に取り組んでいるわけではない。まずは長期優良住宅の実績を0棟→1棟にしてもらおうと協会内に設計チームをつくり、商材や仕様をパッケージ化。工務店が取り組みやすい環境を整えている。また各種セミナーや正しい施工方法の指導も実施。モデルハ

環境・森林・木造

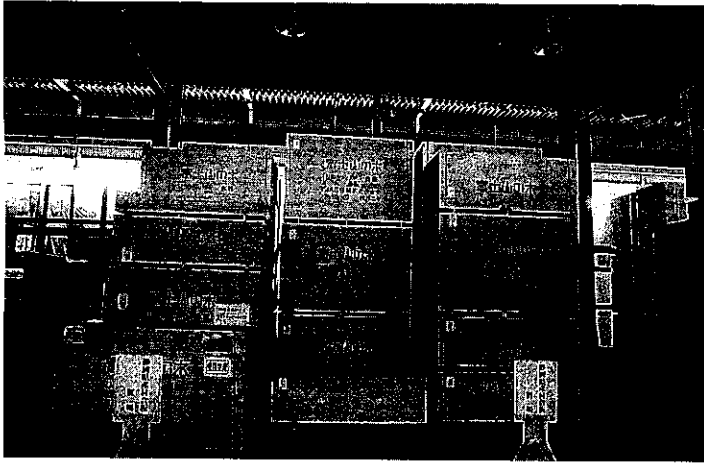
もに、どの地域ネットワークに属さない工務店に対する加盟も呼び掛ける。また同様に、一般ユーザーへの訴求も強めている。一般ユーザーが長期優良住宅や地域産材の使用等のこだわりを持たず、工務店としても、そうした家づくりに取り組みざるをえなくなる。



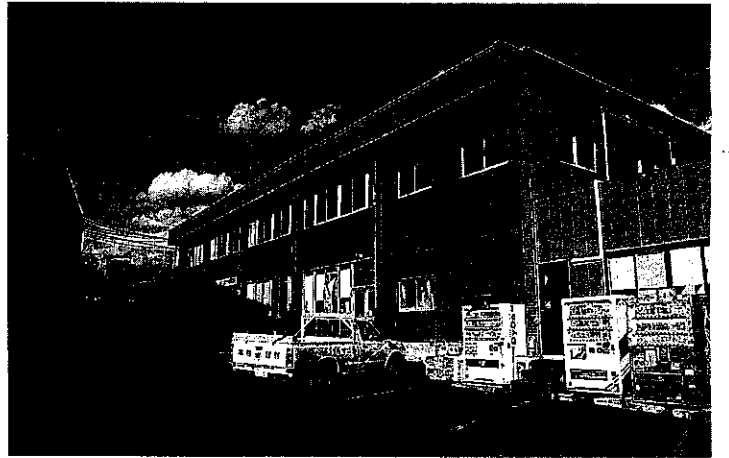
富士松や静岡県産の杉を使用したモデルハウス「みんなの家」



会員なら無料で使える「みんなの家」。見学会やイベントを行う



マルダイの工場内に保管される「富士山の木」静岡県産材合板



富士山木造住宅協会の事務局は木材販売会社マルダイが務める

のある施主に対し、補助金や住宅の性能、地域材使用による環境寄与などの説明で解消していきたいという。富士市とその周辺地域には、山があり、製材工場があり、工務店があり、そして施主もいる。ひとつの地域で木材が循環できる地産地消の環境が整っているなか、同協会は長期優良住宅と地域材の普及・促進等を含めた工務店支援を続ける。

富士山木造住宅協会
の詳細や資料請求、加盟等の問い合わせは、事務局（☎0545-3513003）まで。
（http://www.fuji-jbn.com/）を参照するか、または事務局（☎0545-3513003）まで。